

# 取扱説明書

保管用

日立LED照明器具  
(防湿・防雨形)

**HITACHI**  
Inspire the Next

笠付形 WPKE11161-J24C WPKE11261-J24C  
トラフ形 WPME11161-J24C

- 電源電圧は200～242Vまで対応
- 照度補正形

日本国内用

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。  
ここに示した注意事項は、表示内容が無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」  
内容のものです。



してはいけない「禁止」  
内容のものです。



実行していただく「指示」  
内容のものです。

工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)



**警告**

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい、確実にを行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を凹凸がある面には取り付けない。※器具が変形し、防水性能が損なわれ、火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電圧で使用しない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 外郭が破損した直管LEDランプは、使用しないでください。※感電やケガの原因となることがあります。



**注意**

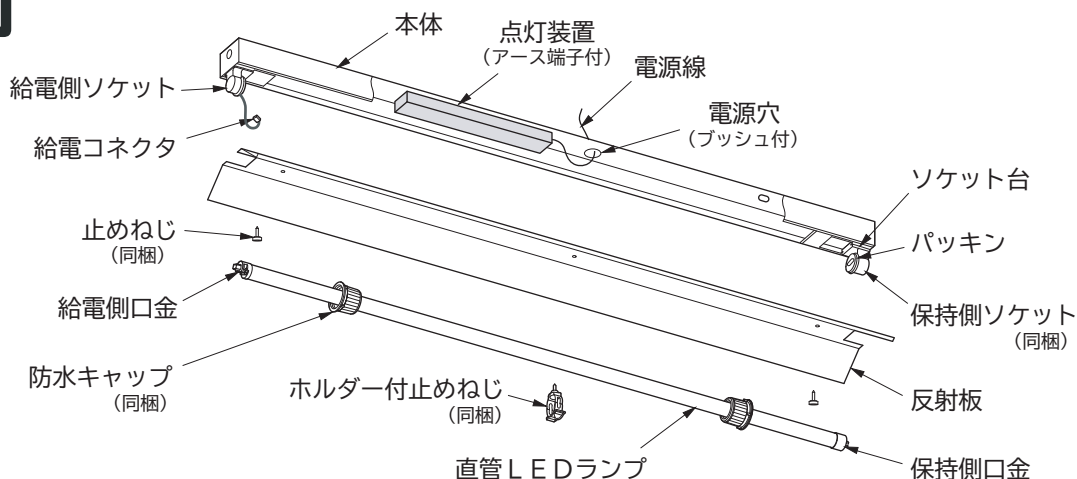
- 本器具は軒下用の防湿・防雨形器具です。直射日光のあたる場所・直接雨が降りかかる場所・器具の背面より雨の吹き込みを受ける場所・振動のある場所・腐食性ガス、油煙の発生する場所・浴場など連続的に湿度の高い場所・蒸気などが直接あたる場所では使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプに物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。  
※ランプの破損によりけがの原因となります。
- 落としたランプは使用しない。※感電・落下によるけがの原因となります。
- 電源線接続部を防水絶縁処理せずに使用しない。※絶縁性能が損なわれ、火災、感電、絶縁不良の原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない。※火災、感電、不点灯、絶縁不良の原因となります。
- 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。

### その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※保護機能が作動し不点灯の原因となります。

## 各部の名前

例図は1灯用



# 取り付けかた (図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です)

## 1 取付前に確認する。

- 取付ボルトまたは木ねじ取付部は、器具質量(表1)に十分耐える補強のある天井面に設ける。
- 取付ボルトの出代は本体45mm以下にする。  
取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。

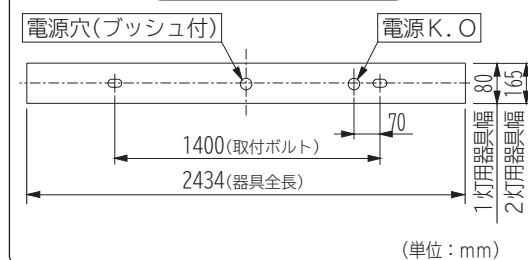
器具質量 (表1)

| 器具形式           | 灯数 | 器具質量    |
|----------------|----|---------|
| WPKE11161-J24C | 1  | 8.0 kg  |
| WPKE11261-J24C | 2  | 12.2 kg |
| WPME11161-J24C | 1  | 6.8 kg  |

## 2 器具本体を取付ボルトまたは木ねじで天井面に確実に取り付ける。(図1)

- 電源線・アース線を電源穴(ブッシュ付)から引き込んでおく。  
他の電源穴から引き込む場合は、電源K.Oを抜き、ブッシュを付けかえてください。

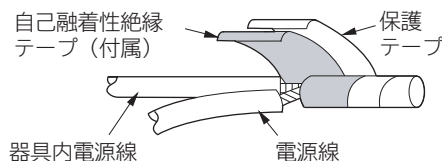
背面取付穴 (図1)



## 3 電源線・アース線を接続する。(図2)

- 電源線は接続後、付属の自己融着性絶縁テープを巻いて防水絶縁処理をし、保護テープを巻く。
- アース線はアース端子に接続し、D種接地工事を行う。
- 反射板で挟まないよう電線を処理する。

電源線の接続 (図2)



- 電源線接続は、内線規定にしたがい行ってください。(内線規定1335-7~9に準ずる)



**注意**

接続・絶縁処理に不備があると火災・感電の原因となります。

## 4 ソケットをソケット台に取り付け、反射板を止めねじで確実に取り付ける。(中央部は、ホルダー付止めねじを使用してください。)(図3)

## 5 ランプと防水キャップを確実に取り付け。(図4)

- ランプには方向性があります。取り付けの向きにご注意ください。



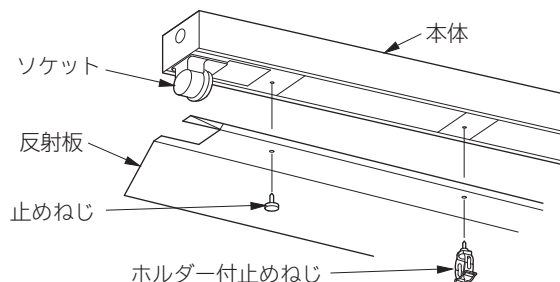
**注意**

取り付けに不備があると防水性能が損なわれます。また、落下の原因となります。

## 6 工事完了後にランプが正常に点灯するか確認する。

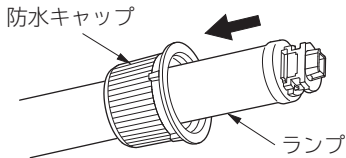
反射板の取り付けかた (図3)

- ソケットが出るように反射板を本体にかぶせ、止めねじで確実に取り付けてください。  
ホルダー付止めねじは、ホルダーにランプが差し込める向きで締め付けてください。

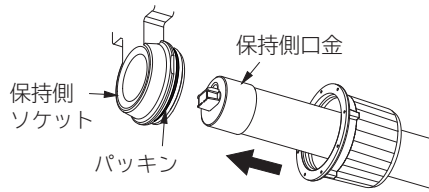


#### ランプの取り付けかた（図4）

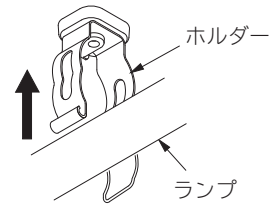
①ランプ両端に防水キャップを通す。



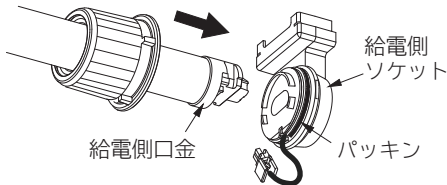
②保持側口金を保持側ソケットに差し込む。  
（必ずソケットにパッキンが付いていることを確認する。）



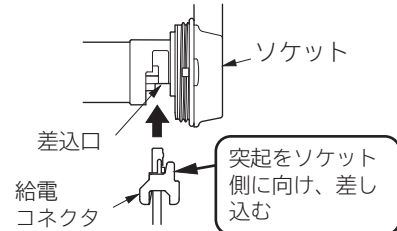
③ランプをホルダーに取り付ける。



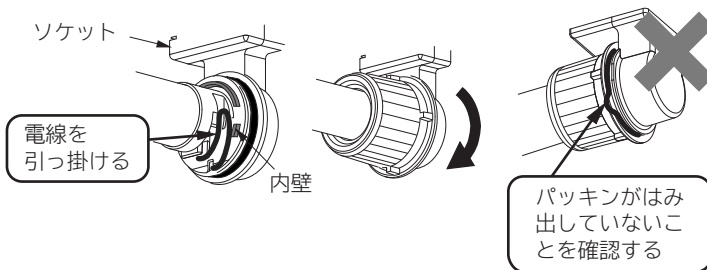
④ランプを保持側ソケットに押し付けながら、給電側口金を給電側ソケットに差し込む。  
（必ずソケットにパッキンが付いていることを確認する。）



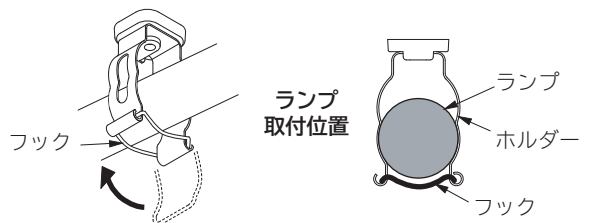
⑤給電コネクタをランプの差込口に差し込む。



⑥給電コネクタの電線をソケット内壁に引っ掛け電線を挟まないように防水キャップを締め付ける。



⑦ホルダーのフックを引っ掛け、ランプを上図の取付位置に下げる。



**お客様へ** この取扱説明書は必ず保管してください。

●このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### ⚠ 警告

- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行う。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。

### ⚠ 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。※火災の原因となります。
- 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしない。※火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- ランプに物をぶつかけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。※ランプの破損によりけがの原因となります。
- 落としたランプは使用しない。※感電・落下によるけがの原因となります。

## ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。  
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。  
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一ランプ内でもLED素子のバラツキによる発光色のむら、明るさのむらが生じる場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

■照度補正形の機能説明は、別紙「照度補正機能について」をご参照ください。

## お手入れ・ランプ交換 (必ず電源を切ってから行ってください)



必ず守る

- ランプ・反射板(ルーバ)がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

- お手入れなどでランプをはずす場合は、3ページ「取り付けかた」の逆の手順で行ってください。再度取り付ける場合は、「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。不備がありますと、落下してけが・ランプの破損の原因となります。



禁止

- みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。またランプ・器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。感電・傷つき・劣化の原因となります。

- 点灯中や消灯直後は、ランプが高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。



必ず守る

本器具は日立直管形LEDランプ専用です。ランプ交換の際は、下記日立製ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・感電・落下・器具の破損の原因となります。

適合LEDランプ

LDK110S・N/55/69C

## 保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。
- この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111